

第3回 京成大久保駅周辺地区に関する意見交換会

平成24年8月26日（日）勤労会館で、午前10時から約2時間にわたり「第3回 京成大久保駅周辺地区に関する意見交換会」を開催しました。

その内容をお知らせする「かわら版 第3号」を作成しました。

目的

京成大久保駅周辺のまちづくりについては、これまで幾度も議論されてきましたが、駅周辺にお住まいの方や、商店街の方などの意見を集約できず、今日に至っています。

そこで、京成大久保駅周辺の現状について地区の皆さまに共通認識を持っていただくとともに、活発な意見交換を行っていただき、その中から京成大久保駅周辺におけるまちづくりの方向性を見出すことを目的としてこの意見交換会を開催しました。

参加者

◎本大久保まちづくり会議（3名） ◎大久保・泉・本大久保まちづくり会議（3名）
◎屋敷・花咲まちづくり会議（3名） ◎大久保商店街協同組合（4名）、
◎習志野市

市長、副市長、企画政策部長、企画政策部次長、
都市整備部道路交通課長、市民経済部商工振興課係長、事務局（企画政策課4名）

市長あいさつ



大久保駅周辺地区に関する意見交換会も本日で3回目となりました。私も副市長も、大久保駅周辺に居住しており、地元のことが話し合われるこの意見交換会を楽しみにしています。

この意見交換会において、充実した意見交換が行われることを期待しています。

§ 前回の意見交換会におけるご意見に対する報告

駅西側踏切付近の安全性の確保に向けた取組み（報告）

1車線化することで、歩行者通路を拡幅し安全性を確保する改良案について、習志野警察署に見解を求めました。

＜習志野警察署との協議概要＞

①習志野市の改良案

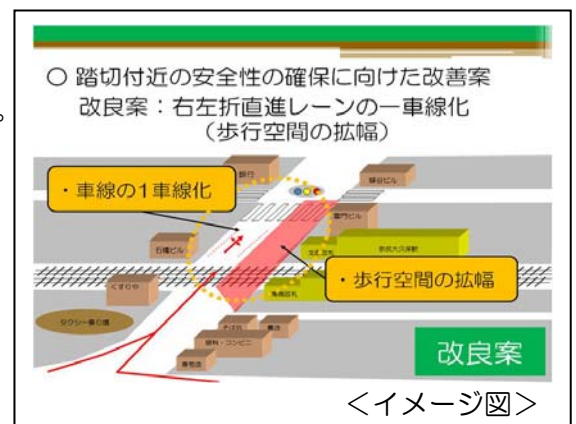
- ・道路幅員8mのうち4.5mを車道とし、歩道を3.5mで整備する。
- ・防護柵等を設置することにより、車道と歩道の分離を図る。

②習志野警察署の見解

- ・現在の交通状況から、改良の必要な箇所と認識している。
- ・改良案は、概ね良いと考える。

③今後の取組み

- ・隣接する店舗との調整を図りながら、歩行空間の拡幅が図れる方向で引き続き検討していく。



§意見交換会テーマ：大久保駅駅舎のあり方について

今までの駅舎に関する主な取組み（事務局から）

- 京成大久保駅周辺開発整備策定委員会
昭和52年から昭和58年の間に、委員会を17回開催し、計画を策定したが実施には至らなかった。
- 東口臨時改札口の開設（平成13年8月から）
午前6時30分から8時30分までの2時間の営業。
- 東口臨時改札口の営業時間延長（平成23年4月から）
午前6時10分から9時までの2時間50分に営業時間延長。
- 北口改札の開設について京成電鉄へ要望（平成15年4月24日）
朝のラッシュ時間帯における、利用者の安全確保・混雑緩和のため、習志野市、日本大学、東邦大学、東邦大学付属高等学校・中学校の連名で、北口に出口専用の改札口設置要望を行う。



京成電鉄は、改札口の集約化を図りたいとのことから、改札口を増やすことはできないとの見解であり、開設には至らなかった。

- バリアフリー整備（平成23年3月）
車いすで改札口を通過し、ホームまで行くことができるスロープを上下線ホームに整備した。
下り線ホームに多機能トイレを整備した。



<北口改札設置要望箇所>

駅舎の橋上化に対する京成電鉄の見解

将来的には、橋上駅舎化することで改札口を集約し、人件費を軽減していく方針としていますが、早期の取組みは、困難であるとの見解を示しています。

駅舎のあり方に係る参加者からの主な意見

- ・西口の安全性を確保する観点から、改札口を東口に集約してはどうか。
- ・改札口を集約するにあたって、住民や商店など地元の意見調整が必要ではないか。
- ・大久保駅と同様の問題解決に取り組んだ事例があれば、参考にできるのではないか。
- ・混雑する西口踏切ではなく、東口側の地下道の利用促進を図ってはどうか。
- ・改札口を全面的に東口に集約すると、商店街への影響が心配である。
- ・橋上駅舎化にこだわらず、モダンな駅舎にしてみてもいいか。



大久保駅と同様の問題の解決に取り組んだ事例があるか調査し、次回報告の予定。

※次回の意見交換会は、11月頃を予定しています。

発行
習志野市役所 企画政策課
電話：453-9222（直通）